

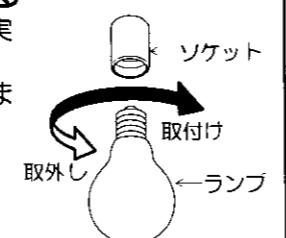
■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す



3 新しいランプを取付ける
ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。

■施工前の確認

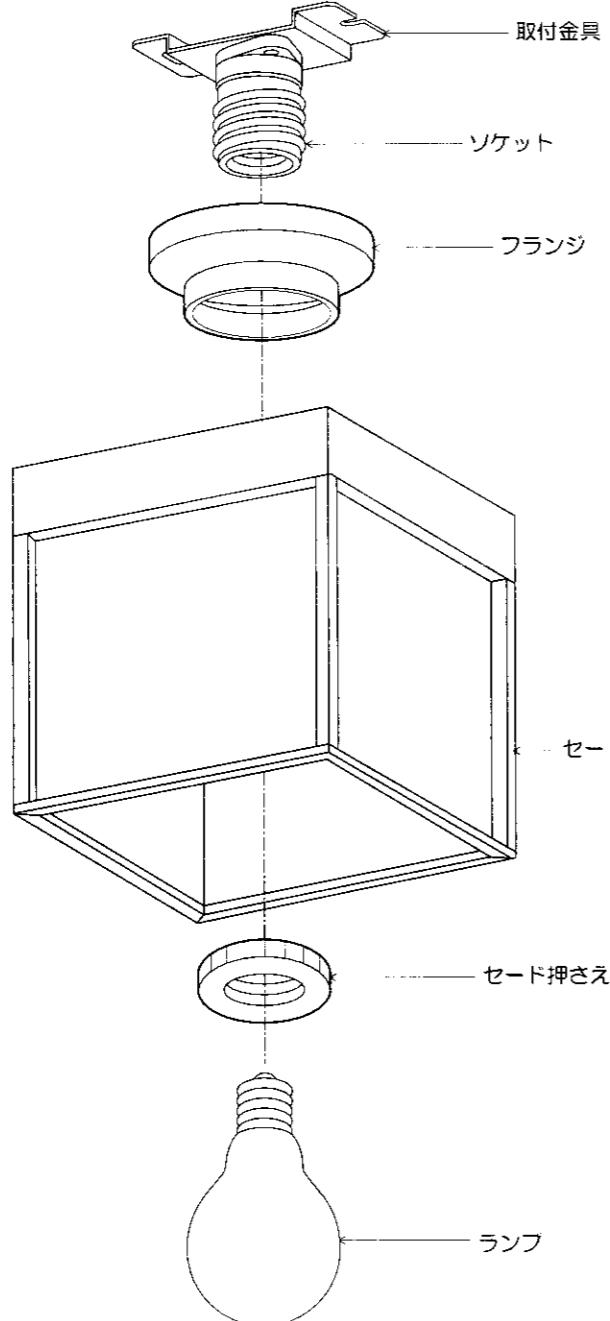
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

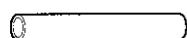
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉



取付ネジ ······ 2本

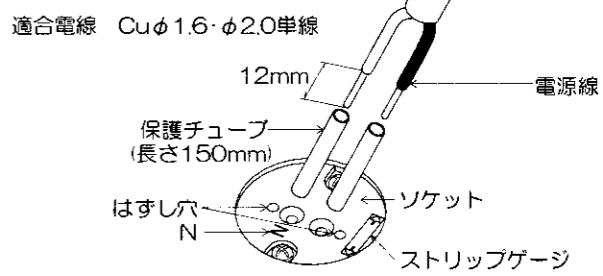
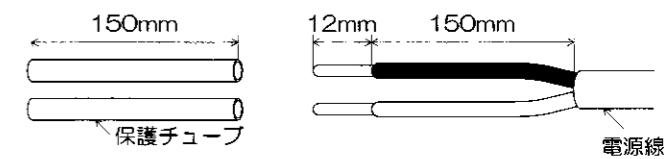


保護チューブ
150mm ······ 2本

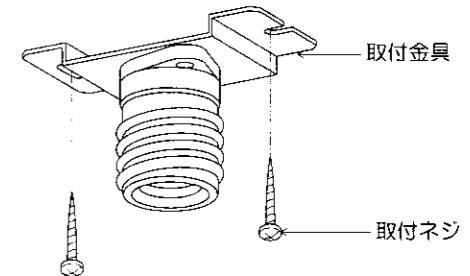
1 電源線を接続する

ソケットのストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、必ず付属の保護チューブを通してからソケットに確実に差し込む。
はずす時ははずし穴にφ1.6の電線などを差し込み、電源線を抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や保護チューブを使用しない場合は火災の原因になります。

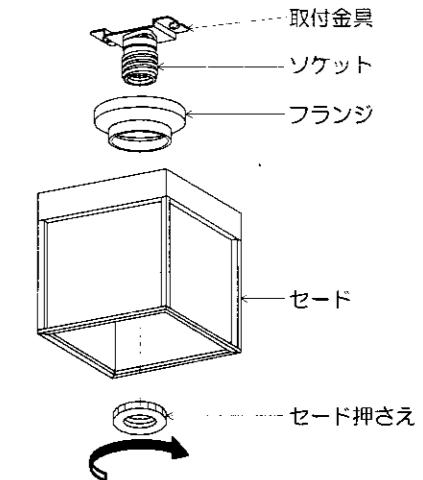


2 取付金具を取付ける



3 セードを取付ける

フランジ、セードをソケットに通し、セード押さえで締め付ける。



4 ランプを取付ける

5 点灯の確認を行なう

!
器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。